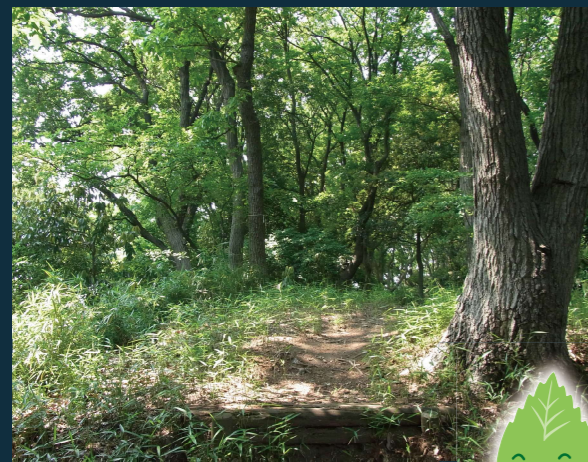
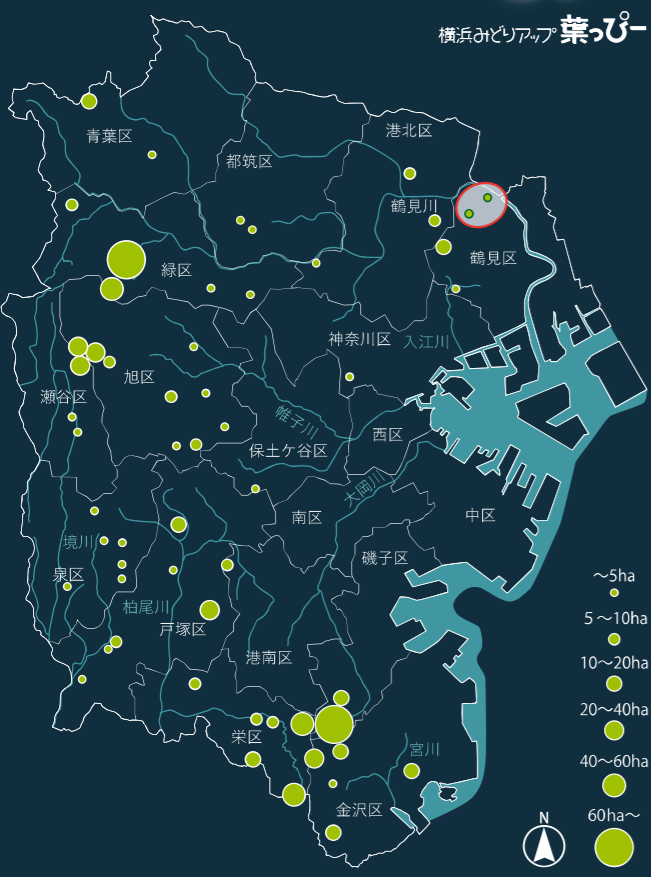


# 駒岡中郷市民の森 かぶと塚ふれあいの樹林



横浜みどりアップ 葉っぴー



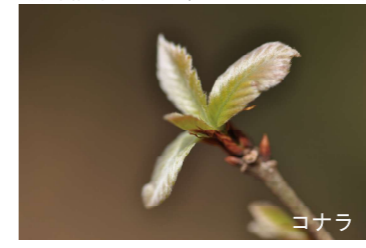
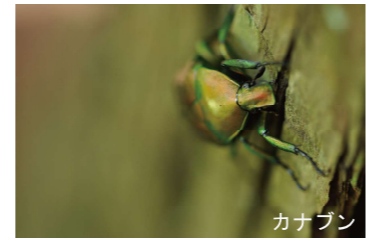
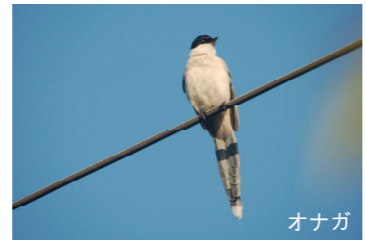
## 森・生き物情報

### 横浜の森はどんな森？

横浜には様々なタイプの森があります。神社などで見られるシヤカシといった常緑広葉樹林は、横浜の原生的な森の姿に近いと言われています。「雑木林」として知られているクヌギやコナラの林、スギやヒノキなどの針葉樹林、竹林などは人が暮らすのに必要な森として手を入れ、育ててきた森です。また森の周りには水田や草地などいろいろな環境が一体になり、豊かな里山を形成していました。横浜市では、これらの森を土地所有者の方のご協力のもと「市民の森」「ふれあいの樹林」として保全し公開しています。

### この森はどんな森？

県道の近くにありながら、森に入れば大通りがすぐ近くにあることを忘れてしまうような、ゆったりとした時間が流れています。道を歩けばカナブンやアオスジアゲハを見ることもあります。また秋にはエンマコオロギなど鳴く虫の大合唱が響きます。



※これらの写真は、樹林地で見られる動植物の一例です。時期や状況によって見られないこともあります。

## 広域マップ・周辺情報

駒岡中郷市民の森・かぶと塚ふれあいの樹林にはトイレはありません。周辺の公共施設のトイレをご利用ください。

### 小川アメニティ

川の源流に近い場所で自然の景観が残っていると水があふれない対策を行い、まわりの環境と調和させて、人々が親しめるように整備した水路です。

### 歴史と緑の散歩道

兜塚から緑の多い丘陵の尾根伝いに上の宮に至る4.5kmの散策路。昭和57年に鶴見区役所、鶴見歴史の会によって整備されました。コースには13基の道標が設置されています。コース沿いには、古代の遺跡が多くあり、この道は中世の「鎌倉街道下の道」であったともわれています。

○歴史と緑の散歩道コース

- 学校
- 市役所・区役所
- 消防署・出張所
- 警察署・交番
- 病院
- 信号
- 公園・緑地
- 吉田 交差点名
- バス停(※最寄りのバス停のみ掲示)
- トイレ
- 電車路線
- 区市界

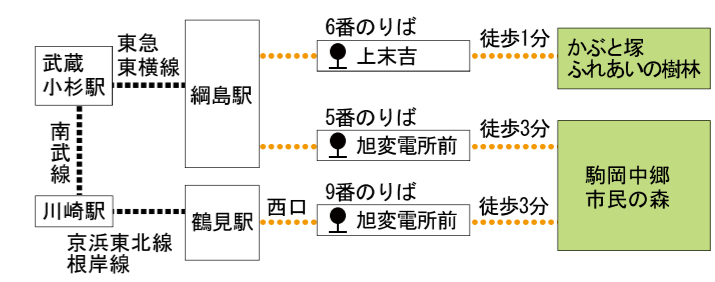
※市民の森・ふれあいの樹林に、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



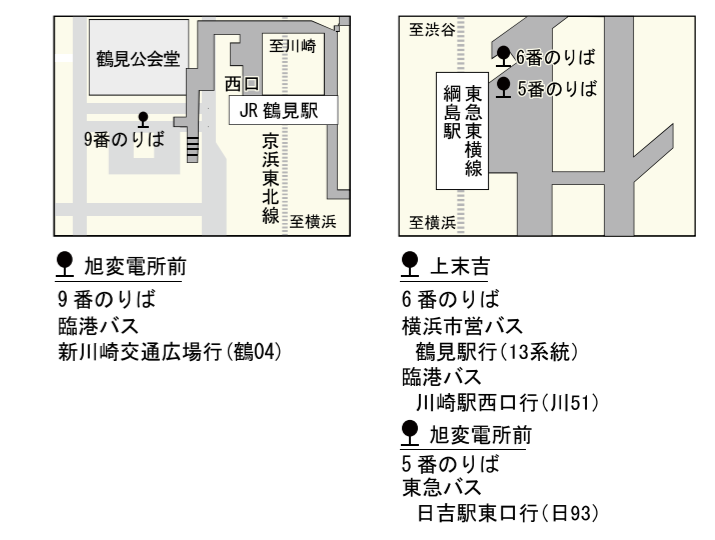
## 交通案内・問合せ先



### 経由案内



### バスのりば案内



### 問い合わせ

●鶴見区の市民の森・ふれあいの樹林  
みどり環境局 北部公園緑地事務所 TEL.045-353-1166 FAX.045-352-3086

### 発行

●横浜市みどり環境局 環境活動事業課  
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10  
TEL.045-671-2624

市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ  
WEBページはこちら！  
[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori\\_up/1mori/forest/guidemap.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/1mori/forest/guidemap.html)

※このガイドマップはみどり税を活用し、作成されています。

森に行く前に

- 服や靴、靴や帽子など山道でも歩きやすい格好でかけよう
- 飲み物や食べ物は持参しよう

フィールドマナー

- ボール遊びはしない
- 静かさを乱さない
- 生きものを持ち帰らない持ち込まない
- ゴミはうちまで
- 道からはずれない
- ペットはつないで
- 火・コンロは使わない
- ポイ捨てはしない
- 利用時間は日の出から日没まで



こまおかなかごうしみん もり  
**駒岡中郷市民の森** 面積 / 約1ha  
 アカガシ、クヌギ、コナラなどの雑木林が残るこじんまりとした森です。この森には、雑木林エリアのほかにヒノキ林のエリアもあります。アオスジアゲハやコクワガタなどを見ることができます。

- ベンチ
  - バス停
  - 水飲み
  - 四阿
  - 階段
  - 案内サイン
- 市民の森・ふれあいの樹林区域内  
 市民の森・ふれあいの樹林区域外

※背景の色の違いは高低差2m間隔を示しています。  
 ※市民の森・ふれあいの樹林の区域以外は私有地ですので立ち入らないでください。  
 ※市民の森・ふれあいの樹林は愛護会の方が園路清掃などの維持管理をしています。



かがと塚ふれあいの樹林 面積 / 約2ha  
 かがと塚広場にはこの地の名称となった由縁とされる石碑があります。約500年前、小机城(現在の小机城址市民の森)を攻めたとされる武将太田道灌が加瀬の台(現在の川崎市幸区夢見ヶ崎)に城を築こうとし、その地で一夜を過ごしました。その夜、道灌は夢の中で、兜を鷲が持ち去りこの地に落としたという夢を見て、この地に自分の兜を埋めたという伝説から、兜塚と呼ばれるようになったと伝えられています。